

5 大学協働によるシンポジウム報告

安全・安心な国土形成から元気な地方を!!

続・安全な"みち"のために

シンポジウムが平成28年1月28日(木)・29日(金)に名古屋市で開催されました。

長岡技術科学大学で実施したME新潟講座の修了生6名が、ワークショップでの意見発表・シンポジウムでの成果発表に参加いたしました。

ME新潟参加者'

- 荒木 克 (大陽開発(株))
- 本橋 謙治(新潟市役所)
- 若月 和弥(北陸地域づくり協会)
- 猪俣 一成(株)巴山組
- 川口 洋平 新潟国道事務所
- 嵯峨山 航 新潟地域振興局
- 事務局 丸山・大塚・小林・清野・大矢

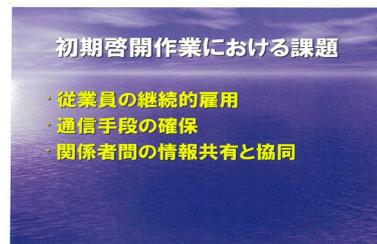


【第1部 ワークショップ】 平成28年1月28日(木)13:00～17:30

〔記念講演〕

「東日本大震災からの復興」 刈谷建設 取締役 上野 裕矢氏

- ・震災発生時の初期啓開作業
- ・岩手県における現在の課題と現状
- ・復興を担う若者の言葉



〔話題提供〕

「岐阜県の ME 活用の取組について」 岐阜県道路維持課 道路管理監 奥田雅之氏

- ・岐阜県における道路の維持管理の取組
- ・小規模橋梁の包括維持管理について

(添付資料の抜粋版を参照)



3-3 MEを活用した点検・修繕包括業務について

目的
MEの高度な技術力を活用し、遠隔施設の点検から診断、対策工法の提案、補修に至るまでの小規模修繕を包括的に行うことで、的確な補修の実施と工期の短縮を図るとともに、業務を通じて社会資本の整備から維持管理を一貫して実施する技術力を身に付けることにより、地域の建設業者を中心とした迅速な対応を可能とすることを目的とする。

点検・修繕包括業務の概要

- 業務の概要：2m以上15m未満の小規模橋梁の点検、診断、工法提案、補修工事（ボックスカルバート含む）
- 委託先：土木事務所管内の建設業者
- 契約方式：単価契約（総値入札）
- 契約金額：1000万～2500万程度（1契約あたり）
（県全体で年間約3億程度）
- 対象橋梁：約30橋程度（1契約あたり）
（県全体で年間約500橋程度）

ME活用：点検、診断、工法提案は必ずMEが行う。ただし、MEが現場代理人や主任技術者である必要はなく、一次下請までにMEを従業者がいること。（コンサルタントMEでも可）

実施規模：全11土木事務所で実施（1事務所あたり1～2件程度発注）

〔各大学の ME 活動報告〕

4 大学(長崎・愛媛・岐阜・長岡)の代表者より今年度の活動報告があり、ME 新潟を代表して荒木 克氏よりユーモアに満ちた解りやすい活動報告がされました。

(前段の新潟県の紹介部分の動画を見て下さい(^o^))



新潟県とは？

塩害劣化
↓
「MEの大好き」
MEの聖地

〔ワークショップ〕

約50名が6グループに別れ、MEの生かし方及びPRをテーマとしたワークショップ形式で話し合い「継続していくための課題と準備、今後の活動の進め方について」として取りまとめ各班より発表がありました。Aグループの代表として川口 洋平氏が発表を行いました。



〔懇親会〕

終了後に更なる交流のための懇親会に参加して来ました。



【第2部 シンポジウム】 平成28年1月29日(金)13:30~17:20

〔基調講演〕

「世界の未舗装道路を住民と直す～住民へのチャリティから住民のビジネスへの転換～」

京都大学大学院工学研究科 木村 亮教授

・アフリカを中心に発展途上国の農村部における未舗装道路を「土のう」により農道を整備する NPO 法人道普請人の活動の講演で、ME 活動の適度な利益に確保にも参考になる貴重なお話でした。



〔ME 活動報告〕

ワークショップでの議論を踏まえた「活動報告と今後の活動の進め方」について各大学より報告があり。ME 新潟を代表して本橋謙治氏が発表しました。



注1 来賓挨拶～事業報告等は省略します。

1月27日(金)の午前中は遊んで居た訳ではなく発表用原稿の作成作業でした。

[懇親会]

終了後ほぼ同じメンバーによる懇親を深める会に参加して来ました。

ワークショップ・シンポジウムに関する資料に興味があり見たい方・欲しい方は事務局清野まで。

